

脱炭素社会の実現に向け、あらゆる燃料を視野に“お湯のある生活”をお届けしつづけます。

私たちは、グループのミッション「新しい幸せを、わかすこと。」を掲げ活動を進めています。私たちのお届けする“お湯”は、一日の疲れを癒やし、寒い日のホッとしたひとときに欠かせません。

そして、「お湯のある生活」をお届けしつづけることは、私たちの使命です。2022年はその“お湯”の大切さ、そしてそれを切らさないという使命についての責任を痛感した一年でした。

新型コロナウイルスの感染拡大や世界的な電子部品の調達難などにより、今まで当たり前にお届けできていた給湯器をお客さまのご希望通りにお届けできず、多大なるご迷惑をおかけいたしました。

温かいお湯が必要なときに、製品をお届けできない、まさに創業以来の非常事態に陥りました。そして、あらためてお湯のある生活を途絶えさせてはいけなさと実感しました。これまでも何度か経営危機を経験しましたが、「非常時」にとてつもない力を発揮するDNAが私たちには受け継がれています。今回も、協力会社さまと一丸となって“お湯を切らさない”事業を使命に、サプライチェーンの再構築に取り組んでいます。

また、2050年の脱炭素社会の実現に向け、あらゆる燃料を視野に入れながら、お湯のある生活を届けてまいります。

ノーリツの想い

社会変化や多様なエネルギーに対応した製品開発を続け、カーボンニュートラルの実現を目指す

ノーリツグループは「お風呂は人を幸せにする」という創業者の熱い想いから始まり、「環境性能」「快適性」を徹底的に追求した技術で「お湯」のある幸せをお届けしてきました。給湯・暖房によるエネルギー消費は家庭でのエネルギー消費全体の約6割を占めています。当社は、これからも機器の環境性能向上はもちろんのこと、お客さまへグリーンで、エコロジカルな生活を提供していきます。

1951 創業

少燃料でお湯をわかす
能率的でさめない風呂



リング箱1箱分の薪でお湯がわかせる能率的でさめないタイル風呂「能率風呂A型」を発売。

家庭のお風呂が珍しかった時代に家風呂を普及させ、燃料不足の当時の人々の生活に幸せをわかりました。

1961

薪・石炭からガスへ
エネルギー変化に対応

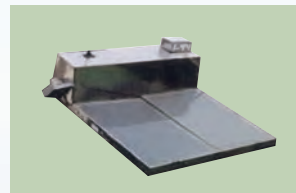


「ガス釜は銅製」という当時の常識を覆し、高効率でデザイン性に富んだアルミ製の「GS釜」を発売。

家庭のエネルギーが薪・石炭からガスへと大きく転換し、当社でもガス製品の開発を開始しました。

1980

太陽の熱でお湯をわかす
クリーンな温水器



CO₂を排出しない太陽熱をエネルギーとした温水器を発売。

第二次オイルショックのガス・石油の高騰をきっかけに生産開始。省エネを先駆けた製品になりました。

1998

給湯だけでなく
コンロの効率も向上



ガス消費量を抑えながら熱効率を向上した「高効率エコジェットバーナー」付きコンロを発売。

調理時の熱効率にもこだわり、業界で初めて熱効率55%を達成しました。



2002

排気熱を再利用して
熱効率95%を達成



排気熱を再利用し、熱効率を向上した環境配慮型製品を発売。

世界的な環境意識の高まりに対応し、従来は約200℃にもなる排気温度を約60℃まで抑え、CO₂排出量も削減した機器を展開しました。

2013

ガスと電気の良いところ
どりでお湯をつくる



ガスと電気でお湯をつくるハイブリッド給湯システムを発売。

業界で唯一自然冷媒[R290]を採用し、ライフサイクルで環境に配慮する製品を生み出しました。2021年には、メーターボックスに収まる熱源分離型も発売し、集合住宅への設置も可能となりました。

2022

高効率な業務用
ガス給湯器



業務用給湯器では業界初、84℃出湯が可能な高効率ガス給湯器を発売。

エネルギーの消費量が多い業務用の分野において、ボイラーからの取り替えを促し、CO₂排出量の削減による低炭素化促進に貢献します。
※HACCPに基づく殺菌洗浄の需要にも対応

2022

業務用
ハイブリッド給湯システム



業務用の市場にもハイブリッド給湯システムを発売。

業務用給湯器とエコキュートを組み合わせることで、使用湯量が曜日や季節によって変動しやすい業務用利用で、湯切れを気にせず環境に配慮した製品を導入できるようになりました。

〈ユーザーに寄り添うエコ開発〉 給湯器の除菌機能 (2010年代～)

わかしたお湯を定期的に除菌。2人目以降の入浴や残り湯の利用も安心。コロナ禍で高まる除菌ニーズに対応できると評判です。

〈ユーザーに寄り添うエコ開発〉 ハイブリッド給湯機スマート制御 (2010年代～)

生活パターンに合わせて、最も効率の良いタイミングと湯量でお湯をつくれます。無駄がないので、エネルギーの使用量を最小限に抑え、環境にも財布にもやさしい機能です。

〈ユーザーに寄り添うエコ開発〉 スマート配管クリーン (2010年代～)

浴槽の排水栓を抜くと、自動でふる配管内の残り湯を新しいお湯で洗い流します。次のお湯はり時にきれいなお湯でわかれます。

〈ユーザーに寄り添うエコ開発〉 エネルック/エコスイッチ (2010年代～)

エネルギーの消費量を「見える化」し、環境意識を高めます。エコスイッチ機能で、気づかない程度に湯量や湯温を調整し、日ごろのエコ活動を実現します。

〈ユーザーに寄り添うエコ開発〉 自動排水栓 (1990年代～)

お湯はりと同時に自動で排水栓が閉まるため、お風呂に入ろうとした時に、お湯がたまっていないというミスがなくなり、水資源も無駄になりません。

〈ユーザーに寄り添うエコ開発〉 おそうじ浴槽 (1990年代～)

スイッチひとつで自動的に浴槽洗浄からお湯はり・保温までできる便利な機能。水使用量も手洗い同等で、お風呂洗いの負担から解放されます。